

第58次南極地域観測隊(夏隊) 同行者候補者等名簿

平成28年11月2日現在(含:年齢)

区分	氏名	年齢	所属	隊員歴等	現住所	備考
行政機関	たけはら まり 竹原 真理	32	環境省自然環境局		東京都葛飾区	
教員派遣	はまなか まき 濱中 真喜	47	宮城教育大学附属中学校		宮城県仙台市	
	いくた よりこ 生田 依子	40	奈良県立青翔中学校・高等学校		奈良県奈良市	
大学院学生	きだ もりまる 木田 森丸	27	神戸大学大学院農学研究科		兵庫県神戸市	
	いとう けんたろう 伊藤 健太郎	40	総合研究大学大学院複合科学研究科		東京都江東区	
	きたの いっぺい 北野 一平	26	九州大学大学院地球社会統合科学府		福岡県糸島市	
研究者	もてき まさと 茂木 正人	48	東京海洋大学学術研究院海洋環境科学部門	第52、53次夏隊同行者 第55、56次夏隊	神奈川県鎌倉市	海鷹丸
	Nuerasimuguli Alimasi	35	ゼノクロス航空宇宙システム		東京都江東区	
	さとう ともこ 佐藤 智子	34	東京海洋大学海洋システム観測研究センター	第56次夏隊	東京都足立区	海鷹丸
	まつの こうへい 松野 孝平	30	オーストラリア南極局(オーストラリア)		オーストラリア	海鷹丸
	しばた あきは 柴田 明徳	51	神戸大学大学院国際協力研究科		兵庫県神戸市	
外国人研究者	Ruth Signe Eriksen	49	タスマニア大学(オーストラリア)		オーストラリア	海鷹丸
	Prayath Nantasin	39	カセサート大学(タイ)		タイ	
	Nugroho Imam Setiawan	34	ガジャマダ大学(インドネシア)		インドネシア	
交換科学者	Davaa-Ochir Dashbaatar	34	モンゴル科学技術大学(モンゴル)		モンゴル	
	Oscar Ramos	47	ラ・サール大学(コロンビア)		コロンビア	
技術者	Wayne Terry	58	Helicopter Resources Pty Ltd (オーストラリア)		オーストラリア	
	さとう むつみ 佐藤 睦	51	Helicopter Resources Pty Ltd (オーストラリア)	第55・57次夏隊同行者	オーストラリア	
	なかた こうき 中田 浩毅	45	株式会社KKTイノベート		熊本県熊本市	
	たなか たつや 田中 辰弥	38	株式会社マリン・ワーク・ジャパン	第57次夏隊同行者	神奈川県横浜市	海鷹丸
	ありい やすひろ 有井 康博	36	株式会社マリン・ワーク・ジャパン	第57次夏隊同行者	神奈川県横浜市	海鷹丸
	おかた かずみ 岡田 和見	31	北海道大学大学院理学研究院附属 地震火山研究センター	第55次夏隊	北海道札幌市	
	まつもと けいたろう 松本 慧太郎	29	株式会社マリン・ワーク・ジャパン		神奈川県横浜市	海鷹丸
報道関係者	たけくま すおう 武隈 周防	32	一般社団法人共同通信社		東京都墨田区	
	いまはやし たかふみ 今林 隆史	40	RKB毎日放送		福岡県福岡市	

※黄色が今回決定する者

第58次南極地域観測隊同行者編成

1. 同行者枠について

「しらせ」

- ・ 「しらせ」の乗船収容人数は80名。一方、第58次南極地域観測隊は68名により編成予定。（往路「しらせ」乗船予定は62名）
- ・ また、57次越冬隊員は30名。（58次隊は33名）
- ・ 58次行動における「しらせ」への同行者乗船可能数は18名。（80名－62名＝18名）

「専用観測船」

- ・ 同行者は9名を予定。

よって、同行者枠は27名（18名＋9名）。

2. 同行者編成について

- ・ 同行者の編成は、以下を基本に調整を図る。

分類	同行目的	人数	
		しらせ	観測船
報道関係者	第58次南極地域観測隊に同行し、昭和基地等において現地取材、報道を実施。	2	—
教育関係者	小中高等学校の教員を昭和基地に派遣し、衛星回線を通じて「南極授業」を実施。	2	—
技術者	観測用小型ヘリコプターの運行、観測・設営計画に関わる技術支援、「しらせ」の航行安全に必須な諸試験等の実施。	4	3
行政機関職員	南極地域の環境の保護に関する法律の遵守状況の確認及び環境影響に関する情報の収集。	1	—
外国人研究者、国内研究者、大学院学生 等		9	6
小計		18	9
総計		27	

注) 人数は、現時点での計画数。今後、南極地域観測統合推進本部総会（連絡会を含む。）において決定。